開催日時	令和4年6月23日(木)10時から11時30分まで
参加者	委員:18人(欠席者3人) 事務局:2人 その他:17人(高齢者福祉課:2人、
	北区長寿保険課:1人、地域包括支援センター三方原:7人、聖隷ケアセンター:三
	方原1人、市社協北地区センター:4人、市社協西地区センター:2人)
場所	浜松市みをつくし文化センター 大研修室
内 容	1. 挨拶(協議体会長、市担当課長、市社協北地区センター長)
	2. 自己紹介 新任3人紹介(コミュニティ担当職員2名含む)
	3. 協議内容
	担い手の確保につながる持続可能な地域づくりを目指して
	① 前回の振り返り *R3.第3回協議体会議議事録参照
	② 今年度実施計画(案)について *資料参照
	③ 6/14 都田アソシエイツ事務局訪問報告 (Y 会長より)
	・企業の CSR 活動を推薦するのは自治会連合会。市の優良企業として登録。
	・事務局2名に趣旨説明。企業への福祉ボランティアとして出前講座を考えたい。
	事務局として強制的な事はできない。出前講座に参加したくなるような文章の作成
	が必要。文章をどうするか検討。
	「福祉とは」「地域の活動紹介と担い手不足」「高齢者が健康で長生きしてもらうに
	は何をすべきか」など説明をして募集したい。出席者はアンケートに回答。(ボラン
	ティアをしたいかしたくないかなど)
	・「ささえあいポイント事業」は、施設や地域のボランティア活動、介護予防活動に対
	してポイントがつく。登録研修を受講しポイント手帳をもらう。
	ロコトレ、地域リハ、口腔ケア。口腔ケアは非常に重要で認知症に関わる。
	・事務局の方が「ボランティア活動をしたいが何があるのか分からない」とのお話。
	65 歳以上の方には「出前講座」で何ができるのか PR していく。広報見ていない。
	若い人へは SNS 等で情報発信。地域住民に持続可能でやっていく。
	・ボランティア活動に対する意識に変化。誰にもできる身近な活動。
	活動分野も福祉以外に、文化、環境、災害、まちづくり、国際教育など広範囲。
	ボランティアに対する問い合わせ先が必要。
	・担い手に関して難しい面がある。まずはチャレンジして前へ進む。
	※「浜松市ささえあいポイント事業」は、浜松市のホームページを参照
	④ 企業から学ぶ SDGs への取り組み×CSR 活動
	一般社団法人 MIYAKODA 理事長。静岡県バーベキュー協会会長。カナデルウェディ
	ング代表。消防団に所属。地元で携わっていることや活動、それを将来につなげるこ
	となどのお話。
	☆カナデルウェディング
	22 歳でウェディングの幹事代行サービス事業 (結婚式 2 次会の幹事代行サービス) を始

めた。地元に帰る機会を得て、「ドロフィーズ」でフォトウェディングを行っている。 写真だけの結婚式。入籍はするが披露宴は行わず自分たちで写真に残す。

都田町には魅力的な場所がある。遠州信用金庫横のレストラン LENRI で、ガーデンウェディングのプロジュースをしている。Brot Lieben 都田店に白馬、やぎ、猫、犬がいる。ペガサスウェディングの企画もしている。結婚式は凄く多様化している。コロナでフォトウェディング中心、BBQパーティーにつながる人が増えている。

☆ハピプロの婚活

株式会社ハッピープロジェクトの事業。今は婚活パーティーが主流。テレビでも、最近の若い子たち 20・30 代はデートをしたことがない。結婚する気がない。ある程度レールを引いてあげないと出会えない。少子晩婚化の時代。次の担い手、先を見据え、結婚の事業をやりつつ出会いのシーンを演出。商工会からの委託や企業からも多い。工場は男性が多く出会いが少ない。まずは出前出張講座で、ファッションチェック、コミュニケーション能力、見た目(眉毛、髪型、話し方等)のセミナーをしてから婚活パーティーへ。企業は福利厚生として行うことが多くなった。出会いの場を増やさないと次の担い手がいない。都田町も高齢者が多く、凄く元気で安心感がある。でも若い方が増えていかないと未来につながらない。そこで婚活、ウェディングをやっている。6 月だけでも浜松エリア 20 パーティー実施。各地で年間 800 パーティー実施。そこから、出会った方々をカナデルウェディングでお手伝いして、プロジュースしていく流れの事業。

☆BBQ

2014年から行っている。都道府県にBBQ協会がある。静岡県の立ち上げをした。 工場勤務の時ブラジル人が沢山いて、昼休みや休日は BBQ をやって楽しそうに過ごし ていた。 自分の中では魅力的だった。 BBQ の魅力は、人と人を結ぶコミュニケーション だと気づいた。都田町の和田共和国(37年前立上げ施設)が5年間休園。今年1月から 再興活動で都田 BBQ フィールドという施設に来月オープン予定で準備中。手ぶらで BBQ ができる。浜松食材 BBQ プランは遠鉄とコラボ。全部オール浜松の食材(野菜・ 肉・調味料・器財・炭)で提供。地元の魅力を伝えていく活動。防災と BBQ のつなが りは体験から。火起こしは、インフラが止まった時や暖をとりたい時、食材を焼く等役 立つ。子どもでも大人でも安心安全にできる講座を出張で行っている。 BBQ 協会の活動 で一番多い依頼は地元企業。社内レクリエーションや懇親会、CSR 活動、福利厚生など、 SDGs に絡めながらの企画。BBQ に学びを加え防災 BBQ の視点。コミュニケーション をとるチームビルディング BBQ は、2 時間で指令を出して、それを各グループで達成 してもらう。地元企業の静岡銀行は、全支店が2年に1回実施。ホトニクス、大林組(建 設現場)へ出張する。クルーズ船を貸切 BBQ をする。BBQ とウェディング。屋外施設 の設営等コーディネートしている。BBQ ソースや BBQ バーガーは地元の食材を使用、 地域と連携している。BBQ のゴミ(主に灰)を出さずいかに循環させるかを SDGs の 取組みとして、灰を農家に提供してできた野菜を使う。

☆火けし (消防団の活動)

地元の消防団に入団。訓練には参加せず、広報担当で地域の連携を深める活動をしてい

る。都田地区分団員は 30 人。定員が決まっているが担い手がいないので、分団活動が大変。第 31 分団「火けし」広報紙を年 1 回発行。3 年前から広報活動として地域住民に周知している。昨年度から消防団地域ふれあい体験(活動を知る)を実施。今年度も企画して 9 月と 3 月に予定。分団員 30 人中 10 人位退団。任期終わり一般市民へ。消防団半数の人は防災士の資格をとる活動。OB として防災士の資格、OB 会として、地域のセーフティーネットを広げる広報をしている。地域の火事に 5 人集まればいいところで大変な作業。経験ある消防団員や OB・防災士が、OB として支えていく。任期終えても活動できる環境を広報担当として組織を新たに作っている。

☆MIYAKODA わくわく MAP

一般社団法人 MIYAKODA の前身は、団体「都田わくわくしたい」。2012 年から8 年間位活動。コロナで活動中止。自分は浜松と静岡の街中に事業所を構えていた。2 年前「都田わくわくしたい」に所属。都田を更なる発展へと、一般社団法人企業発信として取組んでいく。観光活動、農・商・工の連携。地域の防犯・防災。空き家・移住・空き地対策。行政・住民・地域が一体となって取組める活動。都田ゴミニケーション(ゴミ拾い+コミュニケーション)を毎月開催。各エリアを回りながら SNS を活用したゴミ拾いをしている。去年1年間で、13 社から 33 社に増えた。今年 40 社になり新たな活動が始まった。都田出身、他エリアで事業をしている方に、地域ボランティア応援団としてお手伝いもしてもらう。先輩方から受け継いだ事をいかに若い世代へつなげれるか徹底してやっている。食育・人材育成・防災・地域のまちおこしを SDGs の取組みに対して企業出張をしている。毎月1回の定例会。定例会前はゴミニケーションで5年10年後を見据え雑談しながら行う。こんなことをやってほしい、こんな連携ができる等、皆さんからご意見をいただきたい。

- ⑤ スマホの活用 (担当 CSW より)
- ◎水窪町でスマホのビデオ通話を活用した買い物支援の事例を紹介
- ◎スマホの使用 ◎アカウントの乗っ取りについて
- ◎アカウント乗っ取りを予防する6つの対策方法
- ◎スマホで3か所とつながる体験
- 4. 来年度の開催数と日程(案)について

令和4年10月20日 (木) 10:00~ みをつくし文化センター *事前打合せ会;9月16日(金) 10:00~市社協北地区センター(正副会長)

- 5. その他
- ・地域包括支援センター三方原より 三方原地区で認知症徘徊訓練を予定している
- ・高齢者福祉課より 「70歳現役都市宣言」やらまいか型人生年齢区分の啓発物品
- 6. 閉会の言葉 生活支援体制づくり協議体 I 副会長

今後の見通し等

・メディアについて学べる機会を地域や関係機関と連携を図りながら進めていく。

・「出前講座」の内容やチラシについて関係機関と検討していく。CSR活動受賞企業等への働きかけを少しづつ進め、進捗状況の共有化を図る。